

ふれあいと語らいの同窓会

東実同窓会報 No. 21

発行 〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL 03-3732-4481

東京実業高校同窓会会報部
http://www.tojitsu-dosokai.com

主な同窓会行事での会長



会長 本田 位公子 (第 34 期)

ある朝、一本の電話の向こうから聞き慣れた声が耳に入ってきた。「ねえ～！忙しいでしょうが、ちょっとお茶しない？」とのこと。

この友達とは古くからの仲であって、私よりも先輩であるが毎週顔を合わせている方で、このような電話は時々ある。そこで、私は「それでは、我が家へお越しください」と話し、友人が来宅の運びとなった。

炬を囲み一椀いただくお茶。茶の香りと美味しい味が喉を潤し、また、耳を澄ませば釜の湯の音が“しんしん”として、茶室の中はもう別世界。何とも穏やかでゆったりとした空気に包まれ、話しも弾む。二人にとって、これぞ至福の時と思わざるを得ない贅沢なお茶のひとつである。

考えてみると、日本にはお稽古の中にスポーツでは弓道、剣道…とか、また、作法をみても、茶道、華道…、といった「道」がつく習い事は多々あり、幼いころからこれらに親しみ、長い年月に亘り精進して来られた方々は大勢いらっしゃいます。或いは「道」がつくくらいだから一生を懸けて勉強なされる方もおられるかと思えます。

何にせよ一生懸命その「道」に精進し、身に付けたことはなかなか忘れないものであり、とても楽しいものです。茶道といえば、母校の茶道部でお稽古に励んでおられる生徒さんにも、“一杯のお茶が取り持つ縁”を、“一期一会”の精神を大切にして頂き、そこから期待と希望をもって新たな世界へ大きく羽ばたいてほしいと願っております。



平成 21 年 同窓会定期総会(2009.6.6 プラザ・アペア)



東実祭 同窓会の部屋(2009.11.8)



平成 22 年 新年会(2010.1.30 横浜エクセルホテル東急)



新型インフルエンザの影響



理事長 上野 雅子

この原稿を皆様が目にする頃、新型インフルエンザはどうなっているかしらと思いつつ書いております。学校という若者達の大勢いる場所では、インフルエンザのように流行する病気は、大変多くの影響をもたらします。21年度は、新学期早々から新型インフルエンザの流行でいろいろな影響が出ました。まず数十年と続いている交換留学生達が昨年の5月下旬に来日の予定でしたが、検討の結果中止となり、8名の生徒と引率の先生が来られなくなりました。受け入れ側としても大変残念なことでした。選ばれていたボルダーの3年生は卒業生となってしまったため、今年来日出来ないということになってしまいました。思わぬ事態でせっかく準備をしていたであろう生徒達には、本当に気の毒な結果となり、残念に思っております。

本校では幸い1学期の間は何事も無く過ぎ、ほっとしました。しかし、夏休みの合宿で新型インフルエンザにかかった生徒が出てしまいました。それでもたいしたことには至りませんでした。2学期に入り、ポツポツと出始めていた欠席者が、10月に入って増え始め、1年生では学年閉鎖という事態になりました。11月には東実祭を控えていたり、また、一年間を締めくくる大切な大会があるクラブでは、思うように練習が出来ず、大変だったことと思います。11月からワクチン接種が始まりましたので、少しは流行も下火になるかと期待しています。

それに関して面白いニュースが新聞に出ていました。フランスではワクチン接種率が非常に低く、医療従事者ですら10数パーセントとのことでした。日本の「接種したいと希望する人」と比較してみるとびっくりしますが、マスク着用にも顕著に現れています。防御のために着用するのは皆無で、マスクをしている人を見ると、あから

さまに離れるか、顔をしかめたり、避けたりする光景が放映されていました。「お国変われば何とやら」で、インフルエンザ一つとっても国々の反応は違うようです。

と書いたところで、校長に原稿のことを聞きましたところ、これまた新型インフルエンザがテーマだと分かりました。校長の原稿を読んでおりませんので、出来上がった会報をみてのお楽しみとなりますが、重複しましたところはお許し下さい。人が変われば、又内容も変わると、期待して今年度のご報告とさせていただきます。

追記：フランスでも急に接種率が高まり、長蛇の列となっているそうです。



平成22年 新年会(2010.1.30 横浜エクセルホテル東急)



平成21年 同窓会定期総会(2009.6.6 プラザ・アペア)

スポーツのことなら!

しろかね

白銀スポーツ

ユニホーム・スポーツ用具
用品・施設・工事一般
カップ・賞品・トロフィー

〒143-0024 東京都大田区中央8-29-7

TEL(03)3754-8679 FAX(03)3754-4845

第37期 白銀 正明



学校の最近事情



学校長 上野 毅

今、最も気になっていることは、「新型インフルエンザ」のことで。平成21年度はコロラド州ボルダー地区との交換留学制度に基づき、1学期の5月30日に交換留学生が来日の予定でした。丁度その頃はメキシコで発生した「新型インフルエンザ」が世界中で流行の兆しを見せ始めた時でした。日本でも飛行機が成田に着いた時に、係員が乗客を「赤外線体温センサー」で調べ、熱っぽい人は成田のホテルで一週間の観察をした後、入国を許可するという対応でした。この状況をボルダーに知らせたところ、来日は見送られました。あの時の日本の対応は一体何だったのだろうか、と思います。

その後、夏休み前までは日本全体で毎日のように「何々県で数名発症」という報道がされていました。一方、寒くなった秋口からは、「今年は爆発的な流行が予想される」との報道になりました。

地域によって流行の差はありますが、城南地区にある東実の「新型インフルエンザ」感染による欠席者状況は、9月に入ってから10月19日（月）までは、全校合わせて10名以内、一クラス最大2名以内の状態が続き、10月20日（火）から23日（金）の間は、若干増えて全校で10名を超えた程度でした。最も多いクラスでも3名までという状況で、クラス閉鎖はありませんでした。ところが、土日が明けて10月26日（月）になると、1年生を中心に感染者が一気に増加し、43名となり、一学年を学年閉鎖せざるを得ませんでした。

一学年の学年閉鎖が明けた11月4日の時点でも1年生は9名が欠席でした。ちなみに2年生9名、3年生3名です。不思議なことに2学期に入ってから、最近まで

3年生は最大3名でした。3年生は身体が丈夫なのか、卒業を控えて緊張しているのか、凄いです。

交換留学生達は、年明け頃までには予防接種も終え、流行がひとまず収束されると思われる平成22年4月中旬に東実の生徒が訪米、6月初旬には21年度に来日出来なかったボルダーの生徒が来日するということになりました。

今年度は一年間で双方が行き来するという、変則日程で行うことをご報告致します。

さて、インフルエンザに多くの紙面を割きましたが、平成22年度から新設予定の「電気科ゲームITコース」は、「生徒数が減少しているこの時期」に何故、とお思いでしょうが、「今こそ攻めの姿勢を見せる時」だと思い、コースを新設することにしました。

卒業生の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げ、私からのメッセージとさせていただきます。



平成22年 新年会(2010.1.30 横浜エクセルホテル東急)



平成21年 同窓会定期総会(2009.6.6 プラザ・アベア)

—企画・デザイン・印刷全般—

トータルプラン株式会社

〒144-0032 東京都大田区北糀谷1-18-14
TEL (03) 5736-3447 FAX (03) 5736-3448
E-mail : total@wing.ocn.ne.jp

第38期 川邊 國造



学校近況報告



副校長 北井 邦寿

本校は創立が1922年ですから、同窓生の方も多くいらっしゃいますし、長い伝統と人間主体の教育という、東京実業高等学校の文化に支えられて2009年まで来ました。その間、ビジネスコース（商業科）、機械科、電気科、普通科文理コースが設置され、総合学園体制として確立しました。大学は国公立、私立大学問わず進学を果たし、就職は大手企業に入社するなど、実績を着々と積み上げてきました。

近未来の学校教育は、人間育成は当然ですが、“夢”の持てる科、コースが設置され、生徒自身が世界を相手に学校生活を行えるような環境を整えなければなりません。そのような“夢”も含めて、ゲームITコースが今年4月開講します。

内容は、ゲームを“する”のではなく、“作る”ことになります。専門的にはプログラミングの学習を行い、高校卒業後は、ゲーム関係や情報関係に進路を決められるような理系のカリキュラムになっています。また、大学との連携を強化しました。このように、高校はゲーム制作の上で、基本的な学習の場になります。3年間では高いレベルのゲーム制作までは到達できません。完成されたゲームを制作するには、大学に入学し、3CG、音楽、色彩、物語などの学習、研究が必要です。それらが総合されてはじめて、ゲームが完成します。したがって、高校時代から、大学との関わりを持ち、現代社会でのゲームの役割を認識することにより、独自のゲームの開発ができるのではないかと考えました。連携する大学は、東京工科大学です。メディア学部を見学し、学生が真剣に取り組んでいる姿を目に取ったとき、東京実業高等学校の歴史の1ページをこれから入学する生徒で飾りたいと、将来の明るさが浮かんできました。我々教職員はもちろんですが、同窓会の方々にも様々な意味でのご支援をいただきたいと思います。

次に修学旅行の件ですが、昨年までは7月に北海道への旅行でした。7月の北海道は一気に花が咲くなど、たいへん陽気な部分が見られました。しかし、費用の点などで変更を余儀なくされ、検討した結果、2年生の3月に「屋久島」に行くことに決定しました。世界遺産に登録されているように、原生林として太古の姿に接する生徒は、あるいは人間の本来の生き方に気づくかもしれないという期待感があります。また、帰途には、鹿児島県の知覧にある「知覧特攻平和会館」に立ち寄り戦争の悲惨さを見学し、平和が如何に尊いかなどを学べます。

続いて体育祭・文化祭ですが、昨年は新型インフルエンザが猛威をふるい、挙行できるかどうか心配されまし

た。9月29日（火）に雨を心配する中、体育祭を実施し、怪我人もなくはつらつとした若人らしい競技が展開されました。文化祭は11月7日（土）に卒業生、保護者、8日（日）に一般公開として行いました。同窓会からは「落語会」と「どら焼き販売」で参加して頂き、文化祭を盛り上げて頂きました。

学校には様々な行事がありますが、同窓会の存在は大きく、常に協力していただけることに感謝致しております。

■各クラブの活動

マーチングバンド部、陸上競技部、レスリング部は全国大会に出場し、期待に違わぬ成績を残しました。サッカー部は支部大会を勝ち抜き、都大会へ出場。都大会の常連校として存在感を持ち始めました。軽音楽部は東京都の大会に出場。また、東京高校とのライブを開催。漫画研究部は活発な活動が認められケーブルテレビで放映されるなど、運動部、文化部問わず、生徒の活躍が光った1年でした。

■教職員の異動

*新任教職員

社会科 片山 智裕
養 護 西濱百合子

*新任実習助手

機械科 鈴木 武夫
電気科 鳥塚 満夫

*退職教職員

体育科 工藤都志男
養 護 星野 澄子
電気科 小峰 清司
機械科 根岸 賢治

*永年勤続表彰

勤続40年 千田 一雄・荻野 知昭
勤続30年 関根 章道・長谷川 浩
勤続10年 田中 清江・中村 大

本校の最新情報は、ホームページを随時更新し、紹介しておりますのでご覧下さい。

<http://www.tojitsu.ed.jp/index.html>

機械科近況報告



機械科科长 千田 一雄



同窓会会員の皆様には益々ご健勝のことと存じお慶び申し上げます。歴史ある機械科は毎年多くの卒業生を送り出し、その方々の多くが各方面で活躍されていることを誇りに思っています。

現在の機械科は1年生130名、2年生123名、3年生88名が在籍しています。担任の先生方は、1年生がA組：河野年光（機械科）、B組：片山智裕（社会科、サッカー部監督）、C組：小川欽也（体育科、陸上競技部監督）、2年生がA組：村山隆（機械科、女子バスケット部監督）、B組：宮地裕（国語科、柔道部監督）、C組：藤田稔（機械科、卓球部顧問）、3年生がA組：増田修一（機械科）、B組：日比野重光（理科、サッカー部顧問）、C組：小野博司（社会科）の各先生方です。

機械科では平成19年度より、男女共学を実施しております。その当時から、女子生徒の受験希望者はおりましたが、なかなか入学までには至りませんでした。しかし、本年度（平成21年）初めて女子生徒が入学してまいりました。以前から男女共学の準備はしていたものの、「もし、入学してきたらどうしよう」という不安が沢山ありました。いざ、入学してみるとその生徒にもそれなりの心構えがあり、何の支障もなく1年が過ぎましたので、安心すると同時に、胸をなで下ろしているのが現状です。卒業までまだ2年余りありますが、機械科の先生方全員の力を結集して指導し、育てて、進路も決めてあげなければならないと思っています。これからも多くの女子生徒の入学を期待すると同時に、女子教育の充実をより一層図りたいと思っています。



機械科実習室の
工作機械設備

電気科近況報告



電気科科长 須賀 寛光



電気科は昭和45年に設置され、来年度で開設40年を迎えることになりました。その間、携わってきました電気科教職員（非常勤講師を除く）の先生方にご案内を致しまして、昨年9月25日（金）に学校近隣の割烹「まるい」において、電気科教職員現役・OB懇親会を実施しました。この会に先立ちまして会員名簿を作成しましたところ、最高齢92歳の内藤廣夫先生を筆頭に総勢17名の先生方となりました。残念ながら2名の先生（横溝雅之・安藤正幸先生）は、お名前だけで連絡先が分かりませんでした。

懇親会当日は12名の先生方にご出席をいただき、この会の発起人である佐藤節夫先生のご発声で、出席者全員で故高橋健一先生、故依田敏先生のご冥福を祈り、黙祷を捧げました。歓談が進んだところでご出席者の先生方から近況報告をいただきました。OBの先生は家庭菜園をされている方が多く、今年の作柄や畑作業でのことが話題となり、皆さん元気で活躍されている様子がよく分かりました。

電気科は今年4月より、「電気コース」と「ゲームITコース」に分かれ、各コース定員45名でスタートします。「電気コース」においては従来の教育内容ですが、「ゲームITコース」は理系大学進学を目指しながら、ソフトウェア（C言語）を中心にハードウェアを含め情報処理技術を学習します。

平成21年度「第二種電気工事士国家試験」においては、電気科2年生5名、3年生7名、機械科3年生2名の14名が合格しました。機械科の生徒から一度に複数名合格者を出したことは初めてです。簡単ではありますが電気科の近況報告とさせていただきます。



懇親会出席の先生(2009.9.25)

住所等変更になられた会員の方は、事務局までご通知いただければ、名簿のデータを更新します。（ホームページの「お問合せ」からもできますので、ご利用下さい）

普通科の近況報告

「文理コース」



文理コース科長 高橋 修

普通科文理コースは、12月1日現在で1学年85名、2学年77名、3学年93名の生徒が在籍しています。文理コースでは、次の三点を指導の重点としています。

- (1) 基礎学力の定着。
- (2) 生徒たちのレベルに合った学習の展開。
- (3) 大学進学に向けた実力アップ。

(1)については、最近報道されているように高校生の学力低下が全国的な問題になっています。この問題に対し、1年生を対象に、“到達確認テスト”を実施しています。国語・数学・英語の一週間分の授業の定着度を確認し、合格点に達していない場合は放課後の補習で、さらに定着を図っています。これも5年目を迎えて、土日に復習する生徒も増えてきています。

(2)については、2年次(英・国・数)、3年次(国・英)に習熟度別授業を展開し、生徒のレベルに合った授業を行い、理解度を高めるようにしています。

(3)については、昨年より城南予備校より講師を派遣してもらい、年間12回の土曜講座を実施しています。1・2年生約50名が参加し、実力アップを目指して頑張っています。

大学全入時代と言われている今だからこそ、自分が希望する大学への進学を確実なものにするためにも、ホップ・ステップ・ジャンプの指導体制と、以前実施していた学習合宿の再開を検討し、各講習会の充実、早期の進学意識付けなどを行いたいと思っています。そして、一人でも多くの現役合格を目指し、難関校に合格が出来るように、様々な取り組みを行って行きたいと思います。

「ビジネスコース」



ビジネスコース科長 小畑 雅一

2001年にスタートした普通科ビジネスコースも今年度で開設8年目を迎え、現在は3年生160名(男子109名、女子51名)、2年生176名(男子125名、女子51名)、1年生137名(男子101名、女子36名)の合計473名の生徒が在籍しており、毎日元気に学校生活を送っています。

私達ビジネスコースの教員は改編前の商業科の時代から継続している「荷物にならない財産」としての資格取得に力を入れており、1年生には冬に簿記3級を、2年生には夏に情報処理3級の検定受験を全員に課しています。生徒たちは日頃の授業の延長としての補習の他に、試験前に実施している「特別補習」に参加し、放課後遅くまで過去問などに取組み、合格を目指しています。以前のように、3級に合格しないと「落第」といった厳しいハードルはなくなりましたが、それでも生徒たちは熱心に指導する先生方の期待に応え、その大半が合格証書を手に入れています。

「デフレ」が進み、不安定な経済状況の中、ビジネスコースではこれからも社会に出て通用する人間を育て、送り出していきたいと考えています。

今後とも先輩諸氏のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



ビジネスコースの生徒たち(「東実祭」の模擬店で…)

… ゆったり …
都南ユウキ
パーキング

〒144-0044
東京都大田区本羽田3-23-46
TEL・FAX 03 (3745) 0891

第32期 石井 澄枝

剣道部の活動報告



剣道部顧問 佐藤 卓司



剣道部は、初代主将の永田芳郎氏(昭和33年3月卒業)が奔走し、当時の平澤昌一先生、遠藤幸喜先生等のご協力の下に創部されました。卒業生部員は236名を数えます。

現在の部員は1年生のみ4名で、依頼した師範の流石明男氏(昭和46年3月卒業)指導のもと、日々稽古に励んでおります。

最近の成績は、平成18年度の東京都高体連秋季剣道大会(Ⅱ部)団体戦において、ベスト8に入りました。この大会は、武道を志す者にとって憧れの日本武道館での試合であり、上位校が表示される電光掲示板に「東京実業高校」の学校名が出たときは保護者と共に感動しました。

夏には、本校の山中湖学寮で実施している6泊7日の合宿において、東実剣道部卒業生で構成されている翁美会(事務局、下原康男氏:昭和36年3月卒業)の方々の協力を得ながら技術の向上を図り、親睦を深め、剣道の話に花を咲かせています。合宿以外にも、本校格技場において月に一度、現役と翁美会との稽古を行っております。

最後に、同窓会の益々のご発展と同窓生の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



●お菓子のご用命はアルベリに●

和洋菓子、クッキー、焼菓子、ギフトetc
まごころこめてお届けします。

株式会社 **アルベリ**

〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町7番14号
TEL: 045-581-5441
FAX: 045-573-6116

<http://www.alberi.co.jp>

代表取締役社長 仲川 忠邦

生徒会報告



生徒会会長 加藤 大輝



私たち生徒会執行部は様々な学校行事の企画・運営を行い、学校生活をよりよく過ごせるよう活動しています。

今年度の活動は旧役員である3年生により4月にはすぐ新入生歓迎会が行われ、新入生の皆さんを温かく歓迎できたと思います。5月には旧役員最後の行事である「生徒会役員選挙」が行われ、選出された私たち新役員15名が活動していくことになりました。私は前年度は「会計」という役職でしたが、生徒会長として、より責任感を感じることとなりました。生徒会長に任命されてから貴重な経験をさせていただいております。

6月には新役員の15名のメンバーの顔を覚える暇もなく「生徒総会」の準備にあたり、企画・運営しました。各学年ごとに行う生徒総会では全校生徒の前で話すことや、要望書の承認など初めてのことが多く、上手いかいかなかったこともありましたが、協力して進行できたと思います。

7月には姉妹校である東京高校の生徒会の皆さんと毎年恒例となっている合同合宿を行いました。キンビバレッジの工場見学を行い、親睦を深めあったり、プレゼンテーションを通して発言力を養いました。

2学期に入り、東京実業高校には欠かせない行事である「体育祭」、「東実祭」が行われ、企画・運営をする難しさを感じながら、皆さんの協力のもと、無事に終わることができました。特に、東実祭では一般公開日が一日になり、多くの方が来校していただけるか心配でしたが、2000名を超える方々が来校してくださいました。

また、11月に行われた「先生と生徒の懇談会」では、生徒総会で承認された要望書や学校生活をより良くするために副校長先生や代表の先生方と話し合う機会がもてたことは、私たちにとって更なる来年度の課題が見つかった有意義な会になりました。

そして、年明けには生徒会誌『蒲公英』の編集、発行を行い、2月には「三送会」(3年生を送る会)を企画・運営しました。

私達役員は生徒会活動の中で、なかなか上手くいかなかった反省点・課題や達成できたことなど様々な経験を通して、新役員になった時より自分たちの意志や意見を持つようになり、少しは成長できたと思います。いつも温かく見守ってくださっている先生方ならびに保護者の皆様に感謝の気持ちをもちながら、これからの活動にも積極的に努力していきたいと思っております。

ご指導、応援をよろしくお願い致します。

同窓会近況報告

平成21年 定期総会

平成21年6月6日(土)午後3時から、「プラザ・アベア」(蒲田駅南口)において定期総会が開催されました。

本田位公子会長、上野毅学校長の挨拶の後、司会者から本田会長を議長に選出することについて語ったところ、全員異議なく同氏が議長に選任され、議事に入りました。

議長の指名により、本総会の議事録署名人に常任幹事の塩野理二(23期)、鈴木亮太(79期)両氏が選出されました。

「平成20年度の事業報告」が詳細に報告され、次いで、決議事項の「平成20年度収支決算報告並びに会計監査報告」、「平成21年度事業計画案並びに収支予算案」が満場の拍手で承認されました。当年度は役員改選期ではありませんが、小泉耕一郎氏が事業多忙のため、副会長を辞任(常任幹事は留任)し、後任に白田佳彦氏(42期)が選任されました。また、常任幹事に瀬川千尋氏(42期)、酒井利夫氏(53期)の2名が選任されました。

総会に引き続き、午後4時から同会場にて懇親会が開催されました。

本田会長、上野雅子理事長、村松漢代顧問(第2代会

長)の挨拶の後、ご来賓の東京高校同窓会会長内藤頼二氏の祝辞があり、同席された副会長の矢沢秀一氏、石井秀之氏のご紹介が行われました。次いで、井上昭校内幹事長から出席職員の紹介と、北井邦寿副校長から東実の近況報告があり、併せて乾杯の音頭で宴に入りました。

出席者総数は116名(ご来賓・学校関係11名、会員105名)。出席会員は、最高齢85歳の17期卒(4名出席)から昨年卒業18歳の84期卒(9名出席)までの年齢差67歳という幅広い年齢層の方々が出席下さいました。

半世紀を越える幅広い世代の同窓生が交流する、という同窓会ならではの楽しい時間を過ごし、最後に全員で校歌斉唱して散会となりました。

ご多忙中のところ、お集まり頂きました皆様には、この場を借りまして厚くお礼申し上げます。(総務部)



平成20年度 収支決算報告書

自 平成20年4月1日
至 平成21年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
前年度繰越金普通	3,354,952	3,354,952	事務消耗品費	500,000	520,931
入会金	3,700,000	3,730,000	通信連絡費	400,000	504,560
寄付金	100,000	187,000	管理費	200,000	199,521
広告費	60,000	40,000	印刷費	50,000	22,050
東実祭	200,000	200,000	会議費	500,000	455,637
受取利息	1,000	3,105	総会費	400,000	383,025
雑収入	0	0	旅行費	200,000	79,735
			新年会費	150,000	226,136
			東実祭費	200,000	387,530
			会報発行費	450,000	436,020
			慶弔費	300,000	370,000
			卒業記念品費	400,000	328,556
			積立金	1,500,000	500,000
			交通費	20,000	7,400
			予備費	500,000	664,000
			次年度繰越金普通	1,645,952	2,429,956
合計	7,415,952	7,515,057	合計	7,415,952	7,515,057

積立金等次年度繰越金内訳(別途会計)

金融機関名	前年度残高	増減	利息	本年度残高	備考
定期預金(みずほ)	9,249,923	500,000	25,967	9,775,890	定期預金
定期預金(東京三菱UFJ)	10,014,514	0	32,134	10,046,648	定期預金
債券(MMF)	13,246,139	0	67,241	13,313,380	債券
合計	32,510,576	500,000	125,342	33,135,918	

平成20年度の収支報告書を監査致しました。
その結果適正且つ妥当であることを認めます。
平成21年5月21日

会計監査 笠原 忠雄 (監)
同 小島 浩 (監)

「平成22年定期総会」 開催のお知らせ

平成22年定期総会は、次の日時に開催いたします。

日時：平成22年6月5日(土)
午後3:00~6:00

場所：プラザ・アベア(蒲田駅南口)

会費：3,000円(懇親会参加者のみ)

平成21年度 同窓会役員

(平成21年6月6日現在)

役職名	部会	卒期	氏名
名誉会長(学校長)			上野 毅
会長		34	本田 位公子
副会長(副校長)			北井 邦寿
副会長(会計部)		41	滝口 房枝
同(事業部)		41	森田 洋司
同(企画部)		39	戸田 三光
同(会報部)		38	川邊 國造
同(事業部)		37	白銀 正明
同(総務部)		42	臼田 佳彦
常任幹事	総務部	25	吉村 和重
同	同	26	須山 広路
同	同	28	関根 秀夫
同	同	29	實橋 弘敏
同	同	36	阿部 吉伸
同	同	37	斎藤 君子
同	同	37	小泉 耕一郎
同	同	42	谷内 繁
同	同	42	瀬川 千尋
同	事業部	34	中山 勝博
同	同	35	河西 八重子
同	同	38	池上 良信
同	同	38	田所 豊
同	同	41	竹見 佐智子
同	同	41	友田 美幸
同	同	44	南 俊和
同	同	77	山本 真史
同	企画部	41	加藤 憲治
同	同	42	瀬戸 盛義
同	同	42	鈴木 和雄
同	同	53	酒井 利夫
同	同	79	鈴木 亮太
同	会報部	22	通藤 孝一
同	同	23	堀野 理二
同	同	48	佐藤 まり子
同	同	56	佐々木 健
同	同	75	山田 慎
同	会計部	30	渡邊 正信
同	同	42	田畑 慶子
常任幹事・事務局		41	米倉 美鈴
顧問		17	村松 演代
同		27	渡邊 和彦
同		39	黒田 芳彦
相談役		16	小宮 龍雄
同		32	川名 重士
同		34	後藤 光明
同		34	浅賀 英雄
同		35	木村 紘久
同		36	大野 昇
同		37	米田 仁昌
同・会計監査		23	小島 浩
会計監査		18	笠原 忠雄
校内幹事(幹事長)		42	井上 昭
校内幹事(副幹事長)		45	知念 義裕
同(同)		46	飯塚 方子
校内幹事		42	荻野 知昭
同		42	鈴木 政廣
同		43	千田 一雄
同		43	森 吉雄
同		45	馬場 文男
同		46	原田 忠彦
同		54	村山 隆
同		62	中村 大
同		66	深川 剛
同		68	小島 健市

- ・副会長・顧問は就任順、他の役員は卒業年度順です。
- ・校内幹事は東京実業高校卒業の「現教職員」です。

平成21年度 事業計画(報告)

総務部・総会・庶務一般に関する事業

○定期総会

平成21年6月6日(土曜)、15時より、「プラザ・アヘア」(蒲田駅南口)にて開催し、総会後に同会場で懇親会を開催しました。会費は卒業後5年以内の会員は招待とし、無料とさせて頂きました。

(会費:3,000円、参加者:116名)

○庶務一般

- ・同窓会員の名簿の整理業務を行いました。
- ・卒業アルバムCD化を行いません。
- ・正副会長会を開催し、同窓会運営等に関する討議を行いました。
- ・常任幹事会を開催し、行事運営等に関する討議を行いました。
- ・母校行事(教職員との新年互礼会・卒業式・入学式・体育祭・東実祭)に参加しました。
- *体育祭に「同窓会長杯」を贈呈しました。
- *12月に本年度卒業の同窓会新幹事と懇談会を開催し、当会の概要説明を行いました。

事業部・年間行事等に関する事業

○懇親旅行

平成21年10月17日(土)・18日(日)、山梨県石和温泉「糸柳」泊、富士山レーダードーム館、富士湧水の里水族館、忍野八海、昇仙峡散策、武田神社、ぶどう狩り等の旅程で実施しました。

(会費:28,000円、参加者:23名)

○東実祭

平成21年11月7日(土)・8日(日)、東実祭に参加し、中庭のテントで「校章入りドラ焼き」の販売を行い、売上利益を生徒会に寄付しました。また、同窓会の部屋に会員の作品展示や卒業アルバムの公開、落語家若木家元翁・料亭彦柳・若木家落楽さんによる落語会を開催しました。

○新年会

平成22年1月30日(土)、17時30分~19時30分、横浜エクセルホテル東急(横浜駅西口)にて開催しました。会費は卒業後5年以内の会員は招待とし、無料とさせて頂きました。

(会費:8,000円、参加者:83名)

企画部・新企画・HPに関する事業

○ホームページ

同窓会ホームページを随時更新し、年間行事のお知らせ等の情報提供を行いました。

○新企画

同窓生の有名人・著名人等のリストを作成しました。

会報部・同窓会会報誌に関する事業

○同窓会会報誌

本年3月、第21号(本号)を発行し、本年卒業生(第85期)に配布、卒業後2年以内の会員、寄稿者及び行事参加者等に送付しました。

会計部・会計・予算の総括に関する事業

○会計

各事業に係る会計報告を常任幹事会に提出するなど会計業務全般を行いました。

○予算

当年度の収支決算書の作成及び各部会の予算案を集計し、新年度予算案の作成を行いました。

初参加(懇親旅行)



加藤 準一 (第44期)



私は今回初めて同窓会懇親旅行に参加しました。今回の行先は山梨の石和温泉です。当日、早めに集合場所に行くと、ほとんどの参加者とバスが来て居ました。私は車酔いをするので最前列の座席に座りました。幹事さんからの挨拶が有り、今回の参加人数は例年に比べ少ないとのことで、23名の参加者になったようです。その他の説明が終わり、バスは一路石和温泉に向け出発しました。途中「富士山レーダードーム館」、「忍野八海」などを見学し、本日の宿泊場所の「石和温泉、糸柳」に到着しました。この宿は百有余年の甲斐の老舗旅館で、部屋、お風呂とも大変良くゆっくり出来ました。

夜の宴会では料理も良く、カラオケも有り、良い雰囲気が進み、時間が早く感じました。宴会の最後には参加者全員で毎回恒例になっているという踊りで終了となり、二次会へと進みました。二次会では先輩方といろいろな話しが出来、大変有意義な時が過ごせました。

二日目は「昇仙峡」、「武田神社」、「勝沼ぶどう狩り」などの行程を消化して、帰路に着きました。

今回の旅行で一つ感じたことが有ります。それは同期生が大勢いたらもっと楽しい旅行になるという思いです。ちなみに、私の同期生は一人も居ませんでした。来年は同期生に連絡をとって、是非参加したいと思います。



uno CO.LTD.
 ビジュアルプランニングのパートナー
 写真の撮影・編集・印刷・製本まで

有限会社 ウーノ 03-3871-3448
 〒116-0002 東京都荒川区荒川3-6-4 加藤P.P.2F

桜美会 福田 真



今年も東実祭に
参加しました。



今年の東実祭は、インフルエンザ流行の影響で開催が危惧されましたが、11月7日(土)は生徒と父兄のみ、8日(日)が一般公開という内容で開催されました。

同窓会は、両日に亘り例年行っている「校章入りドラ焼き」を販売し、8日の午後1時半に早々完売しました。今年も売り上げた利益を全て生徒会に寄付させて頂きました。また、2階の教室を借りて「同窓会の部屋」を設け、会員が制作した「作品の展示」や「卒業アルバムの公開」と併せて「CD化した卒業アルバムを画像で放映」する等を行い、来訪者に喜んで頂きました。

前回、同窓会として初めて企画し、好評だった「落語会」を今回も7日午後1時~3時までの開催を予定していましたが、しかし、主催者の手違いから、早く始め早く終わらなければならなくなりました。そのようなお粗末さはありましたが、演者(若木家元翁他2名)の熱演によって終了時間2時を少し回って終わることができました。観客は昨年とほぼ同数の29人。特に在校生が目立つ会でした。

お忙しい中、前日の準備から最後の後片付けまで、3日間に亘りご協力頂いた役員並びに会員の皆様にお礼と感謝を申し上げます。(事業部・企画部)

●● 楽しい室内空間作りのお手伝い ●●

インテリア 遠藤商店

〒146-0085
 東京都大田区久が原3-34-12
 TEL.(03) 3752-3027 FAX (03) 3752-3359

第22期 遠藤 孝一

毎年盛り上がる拡大幹事会



恒例の拡大幹事会は、昨年も11月24日(火)に開催されました。

この会は年間を通して同窓会の運営に携わっている常任幹事(正副会長を含む)に加え、歴代の正副会長及び母校の教職員の先生方にもご出席をいただき、母校と同窓会の行事等を話題に歓談し、出席者同志の交流と懇親を図る目的で、毎年同時期に実施しております。

今回は、母校から理事長、校長両先生始め、北井副校長先生、井上先生、千田先生、知念先生も出席して下さい、臼田副会長の司会により、横浜ランドマークタワー横浜ロイヤルパークホテル地下「カフェフロア」で賑やかに行われました。

各部の活動状況が報告された後、校長先生が挨拶され、今年度から開設される電気科ゲームITコースの説明がありました。また、北井副校長先生からは直近に行われたプラスバンドの大会や、関東高校駅伝に関する報告があり、前者は優秀賞受賞、後者は参加48校チーム中の30番代の成績だったが、「下級生に力のある生徒が居るので、1~2年後が楽しみです。」との報告がありました。

続いて乾杯の後、歓談に入り、母校の新コースや、各部活の活動の話題や、楽しかったバス旅行の話などで多に盛り上がり、散会となりました。(総務部)



力走する星野光汰君(2010.12 箱根駅伝5区)

新年会



2010年1月30日(土)午後5時30分より、毎年恒例の「同窓会新年会」を横浜駅西口にある「横浜エクセルホテル東急」で盛大に開催されました。

当日の出席者は、ご来賓に上野塾理事長上野雅子様、東京高校同窓会会長矢沢秀一様、副会長太田隆紹様、事務局進藤健様、学校からは上野毅校長先生、北井邦寿副校長先生他8名の先生方、同窓生は最高齢の86歳(17期)から最若年の19歳(83期)の方々69名が出席し、総勢83名の盛会となりました。

本田会長の挨拶に引き続き、ご来賓の上野雅子理事長、矢沢秀一東京高校同窓会長様よりご祝辞をいただき、上野毅校長先生の乾杯のご発声で懇親が始まりました。

先輩、後輩の和気藹々で懇談が続く中、宴途中で行われた本田会長と出席者全員で景品を掛けたジャンケン大会を行うなど楽しい一時を過ごし、最後に全員で校歌斉唱し、臼田副会長の閉会挨拶と渡邊正信常任幹事(会計部)の三本締め(チョメチョメ閉め?)で閉会しました。

ご多忙中のところ、ご出席頂きました皆様には、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

本会の新年会は、1982年(昭和57年)1月に第1回目が開催されて以来一度も中止せず、今回で29年連続の開催となりました。来年は30回という記念すべき年であり、盛大に催したいと計画しております。

本会報をご覧(又はホームページを閲覧)の会員の皆様、初参加の方は大歓迎です。特に卒業後5年以内の会員は招待とし、会費は無料とさせていただきますので是非ご参加下さい。申し込みは同窓会ホームページでも出来ます。(事業部)



会長と参加者全員の
ジャンケン大会

第86回箱根駅伝に、本校を昨年3月(84期卒)に卒業し、専修大学に進学した星野光汰君が、第5区(小田原~箱根、23.4km)の山登りを1年生ながらまかされました。初めての出場、山登りという重責、強い向かい風という影響もあり、満足のいく走りではなかったようですが、高校時代からまじめで熱心に取り組み、「心」で走る選手だけに、今後も期待がもてます。

皆さま方の温かい応援を宜しくお願い致します。

(陸上競技部監督 小川欽也)

“異邦人”



小菅 正昭 (第36期)
(2009年12月バンクーバーより)

私は自分の Identity を日本人であるのか一瞬迷うことがある。と言うのもカナダ、アメリカ、イギリス3カ国の永住権を持ち、退職した現在、その3カ国から企業年金及び国の年金を受給しているからです。

私は永住目的で1968年(昭和41年)の春カナダのトロントに向け、羽田を飛び立ちました。最初の目的はまず当地の大学に入学することでした。その為にアルバイトをし、英語力を磨き上げ、English Facility Test (Michigan Test) に合格するために努力しました。

2年間の努力の結果1968年に念願のトロント大学大学院の Industrial Engineering 部の人間工学科に無事入学する夢が叶いました。人間工学を選んだのは日本での専攻をもっと追求したく、又この学問は人間のいる場所には何処にでも応用できるいわゆるつぶしの効く勉強だからです。学ぶ内容は幅広く、心理学をはじめ、工学全般、デザイン、化学、マーケティングリサーチ、推計学及び医学の分野でした。ここで学んだことがその後の私の人生に直接的、間接的に深くプラスの影響を与えてくれました。

2年後に卒業して最初に選んだ所は、The Hospital For Sick Children の人間工学課でした。この病院はトロントにある北米でも知名度の高い子供だけを受け入れる専門病院です。ここでの仕事は医師、看護婦、その他のスタッフ全員が毎日能率よく快適に仕事ができるよう、治療室、看護室、入院室、会議室、待合室及びスタッフの食堂など全ての Function Room の稼働率、快適さをチェックして問題があれば直ちに Layout から設計改善に努力します。

3年ほど勤務した後、今度は商売に興味を持ち、手始めにトロント郊外にある Shopping Mall 内に日本的な Boutique Shop を開けてみました。タイミングが良かったせいもあり商売は順調に伸び1年後には二軒目を別の Mall にオープンし、3年後には新たに Franchise の Rent A Car にも手を出しました。全体の業績はすこぶる順調でしたが6年目にして体調を崩し、やむなく全てのビジネスを売却しました。

1年ほど旅行などして休養したあと、又商売のおもしろさが忘れられず、当時は日本食ブームの走りであった頃で、これに目を付けました。ところがレストラン経営に必要な腕も知識も持たない私では人を動かすことができず、ここで一大決心をしてニューオーリーズのフレンチ、クオーターにある紅花スクールに入りそこで6ヵ月間 Restaurant Management の手ほどきを受けました。終了後、直ぐにトロントに戻る予定でしたが San Francisco 郊外に新しい店がオープンし、そこの支配人の Position を薦められたのを機に California に残ることになりました。実際にレストラン業に入り、その難しさを実感して自分の店を持つことを断念しました。一つには California の生活があまりにも快適だったこともあります。Newport Beach 店も含め4年間紅花に籍を置いた後、武蔵工業大学時代の級友から Los Angeles に海外第一号店となる車の Dealer を作る話

最近の小菅氏
(昭和36年度の卒業記念
アルバムの中の男子卓球
部の写真の右から4人目
です。同期でアルバムを
お持ちの方、見比べて下
さい。「会報部」)



があり、私は副社長として車の販売及びリムジンサービスの経営を任されました。

私はそこで約6年間働いた後、カナダのバンクーバーに行き、五つ星のホテルに Director として13年間働くことになりました。日本資本のホテルである関係上日本からの政界、財界、芸能人の VIP ゲストも多く、細川元首相、宮沢元首相、海部元首相、橋本元首相、そして高円宮と令夫人らをお迎えする機会にも恵まれ、宮様からは菊の紋章の入った銀のワイングラスを頂き、今でも大事に持っています。このホテルにはチャールズ王子とダイアナ妃もお泊りになったこともあり、また私が勤務している時にクリントン、ゴルバチョフ両大統領の巨頭会談もありました。女優の岩下志麻さんとお食事をしたり、元日銀総裁とお話をする機会に恵まれたり、外国ならではの貴重な経験をいろいろすることができました。

同ホテルが米国の会社に売却されると同時に退社しました。ちょうどその頃紅花からヨーロッパ行きの話がありましたので Wife と共に急遽ロンドンに発ちました。Managing Director としてロンドンの3店舗およびモスクワ店、イスタンブール店、ブカレスト店の計6店舗の経営を任されました。ロンドン市内にある各店はそれぞれユニークな作りで客層も違い、繁華街にあるピカデリーサーカス店はお金持ちのロシア人や石油成金のアラブ系が多く、チェルシー店の近くには金持ちのヤッピーが多く住み、俳優のトム・ハンクスやサッカー選手のデイビッド・ベッカムと奥さんのピクトリアが子供を連れてよく食事に来ていました。スイスコテージ店は閑静な住宅街にあり、日本のビジネスマンが多く住む町です。開店当時はダイアナ妃が子供達を連れてお忍びで近衛兵と共に店一軒借り切って食事に来たそうです。私がいた頃の VIP の筆頭はやはりビートルズのポール・マッカトニーでした。いつも気楽なTシャツとジーパン姿で、一人で来て店の隅に決まった席をとり誰とも口をきかず、菜食主義らしく野菜のみを注文していました。

私の紅花ヨーロッパの契約期間は5年でしたので、契約が切れた2007年の春に直ぐにバンクーバーに戻り、64歳で隠居生活に入りました。以来、健康維持の為ゴルフと東実時代に練習した卓球を欠かさず続けています。その他には読書と Bird Watching、そして近くに住む孫娘たちと遊ぶ時に最高の幸せを感じる今日この頃です。

最後に、この私の体験談が東実のニューズレターに載る頃は既にバンクーバーオリンピックは終わっていると思いますが日本選手団の健闘を心から応援致しております。



米の配給所 への手伝い



顧問(第2代同窓会長)

村松 濱代 (第17期)

私が小学校に入学する時に満州事変が勃発し、中学校に入った年に支那事変が始まり、中学校を卒業する頃太平洋戦争が開戦になり、私達の青春時代の背景には常に戦争の黒い影が付きまとっていました。戦争の環境の中で日本は必ず勝つのだ、と言う信念のもとに私達は育てられてきたのです。

戦争が進むにつれて物資が不足し、衣、食、住に事欠くようになり、特に食べ物次第に不足し、日用品の殆どに配給制度が布かれ、日々の生活は極度に圧迫されていきました。

支那事変が日一日と拡大され、若い人々が軍隊に召集され、戦地へ戦地へと派遣されて行きました。日本の国は島国のため、米、英、仏のABCラインで海上を封鎖され、石油をはじめとして物資の輸入が出来なくなりました。そこで、日本軍はやむなく昭和16年12月8日、ハワイのアメリカ艦隊の集結している真珠湾を奇襲攻撃し、ついに太平洋戦争に突入しました。

その頃私達は中学5年生で、本来なら翌年の3月に卒業の予定でしたが、働き手が戦地に行き労働力が足りなくなり、軍需品や物資の生産のために学生は繰り上げ卒業になりました。それで、社会に出る者は12月で卒業し、進学する者は翌年3月まで自宅で待機することになったのです。私は明治学院高等商業部へ進学が決まっていたので、近所の子供達に勉強を教えたりして4月の入学の日を待っていました。

その当時、お米は一人一日2合3勺の配給制度になっていました。私はある日何気なく米穀通帳を見ますと家族の人数に対して配給量の計算が間違っており、納得できませんでした。そこで、米穀通帳と算盤を持ってお米の配給所に掛け合いに行きました。

お米が配給制度になって私企業のお米屋さんなくなり、町会単位ほどの広さの中に米の配給所が一軒あるだけでした。そこへ行きましたら配給所の計算の間違えだと謝られ、「ところで学生さん、君は算盤が達者だし、もし時間が許したら、一日に何時間でもいいから手伝ってもらえないか」と、逆に頼まれてしまいました。その頃は若い人が軍隊に行き人手が不足していたのでしょう。

その夜、父が会社から帰ってきてその経緯を話したところ、「お前さえよければ好きにきなさい」と言われたので、翌日配給所に行き、そこの主任さんにお手伝いをすることを承諾しました。

各家庭のお米の配給の計算や、役所に提出する書類の作成の事務をしていた或る日、保田さんが(配給所の主任)「濱ちゃんの所でお米が欲しいなら少し持って行き

な!」と言って「サシ」で袋の中の米の良し悪しを調べ、良さそうなお米を一袋(14kg=一斗)配給の値段で分けてくれました。私の家は食べ盛りの7人家族でしたので父母を始め大喜びでした。その後も頃合を見計らって保田さんはお米を分けてくれました。だから、私は家で大きな顔をしてご飯だけは腹いっぱい食べていました。

4月に入って私が明治学院に入学するのでお手伝いが出来なくなると、主任の保田さんが私の姉に目をつけ、配給所に勤めてもらえないかと相談がありました。姉は当時、千代田生命保険会社に勤めていましたが、食糧難の時代で、食べる方が大事だったので、会社を辞めて私の後を姉が勤めました。

姉が米の配給所に勤めてからしばらくして、知人の紹介で姉の縁談の話が進み、その仲人を配給所の主任の保田さんが引き受けてくれることになりました。

姉は石井由蔵さんと結婚してからも配給所に勤めていました。しかし、子供が出来て勤められなくなるちょうどその頃、妹の辰子が女学校を卒業したので、姉に続いて配給所に勤めました。結局、配給所には私と2人の姉妹の3人が勤めたことになりました。妹は昭和20年4月10日の大空襲で、蒲田地区が焼け野原になるまで勤めていました。そのような経緯で、3人が入れ替わり配給所に勤められたので、戦争中の食糧不足の中で、空襲で焼け出されるまでお米に不自由することはありませんでした。保田さんが外食券の綴りを時々私にくれたので、その外食券を寄宿生活で食べ物に苦しんでいた友人達に「腹が減っているんだろう」と言ってよく上げました。友人達は私を米屋の倅だと思っていたようです。

縁とは不思議なもので、お米の計算が間違っていたのを掛け合いに行ったことがもともと、戦時中お米に不自由することなく暮らせたのは、有難いことだと思っています。

楽しい日本語を大切に

株式会社 佐々木印刷所

☎146-0095

東京都大田区多摩川1丁目18番5号

TEL.03-3758-0710

FAX.03-3758-2821

第56期 佐々木 健

▲▼ 同期会だより ▲▼

今も尚、「一人会」として、
毎年、顔をあわせています。



竹内 喜代司 (第18期)

23期卒同期会



長瀬 尚午 (第23期)

信念

日々努力を重ねて、気が付いたら84歳を過ぎていました。大正14年に神奈川県横浜市で生まれ、横浜から川崎へ、川崎から東京都府中市へ、そして現在の三鷹市で会社を構え、自宅を構え、60年が過ぎようとしています。

「同窓会報に寄稿を」とのお話を頂き、真っ先に脳裏に浮んだのは、入学した年の夏休みに「剣道部剛健徒歩旅行」に参加した時のことでした。

自分の食糧と天幕1枚・毛布1枚・着替えをリュックに入れ、無銭で蒲田より出発し、多摩川の種々の橋の下で宿泊(野宿)をし、多摩御陵を参拝し、多摩墓地・竜源寺で手を合わせ、最後は砂利のトラックに全員乗せてもらい河原にたどり着きました。この時に「やれば出来る」、「弱音を吐くな」、「元気に声は大きく」、「人には信頼されること」を教えられ、体得し、現在でも自分の“信念”になっております。

お陰様で藍綬褒章をはじめ、警察部外関係でも警視總監賞・緑十字金賞・警察庁長官賞など多種にわたる賞を頂き、今もなお地域での役職をやらせて頂いております。

東京実業で得たこと、“信念”は今も変わっておりません。

最後に、ここに寄稿させて頂けたことに感謝し、ペンを置きます。



東京実業(昭和17年11月初旬)での最後の写真です。
(18年の卒業が3ヶ月早く、卒業となりました)

23期同期会は、暑くなく寒くない時季が良いということで、例年6月に開催している。例年通り、昨年も川崎駅ビル「カメラアルホール」にて13名の出席のもと開催した。

まず、開催にあたり、東実同窓会前会長の故山本徳太郎君を偲んで献杯の後、1名ずつ近況報告をしてから、カラオケで賑やかに行われた。梓田君の詩吟も演じられ、小島君より学校の近況報告があり、母校の繁栄を願いつつ来年の再会を誓い合った。



出席者一同(2009.6)

長瀬氏は在学中、野球部(戦後復活チーム)に在籍し、昭和23年卒業まで全試合に出場、誠実なプレーで、友成部長、佐藤三男監督の信頼を得ていた。

(会報部・塩野)

めつき材料総合商社

株式会社 三松

本社 東京都大田区西蒲田7-57-11
〒144-0051 TEL (03) 3733-7131 (代)

湘南営業所 藤沢市辻堂西海岸2-14-45
〒251-0047 TEL (0466) 34-1711 (代)

横浜営業所 横浜市神奈川区恵比寿町7-5
〒221-0024 TEL (045) 461-6088 (代)

第17期 村松 清代

第75期同期会



開催のご案内

私は、第75期（平成11年、1999年）卒業、昨年の定期総会で常任幹事に選任され、同窓会活動を行っている山田慎と申します。

私達同期生は、本年2010年に卒業10周年を迎えます。また、時を同じくして母校も創立90周年を迎えます。

周年記念のお祝いに併せて、同学年全体（機械科・電気科・商業科・普通科）の同期会を同窓会及び各クラス幹事の主催により、開催することを企画しております。

当時の教室で担任教師に…、10年経った同期生に…、会ってみませんか？

開催は、平成22年度中（平成23年3月31日まで）の予定で検討しております。

第75期生の皆様には同窓会より、ご案内の葉書を送付致しますので、ご参加のご返信をお待ちしております。

尚、75期クラス幹事以外の方で当同期会企画に協力していただける方がいらっしゃいましたら、同窓会までご連絡をお願い致します。

また、同窓会では卒業10年目を迎える学年の同期会開催の支援活動を行っています。

第76期（2000年）以降卒業の同窓生で、学年全体開催をご計画されている方がおられましたら、同窓会にご連絡下さい。

連絡先は、本会報裏面16ページをご覧下さい。同窓会ホームページからもお申し込みが出来ます。



info@tojitsu-dosokai.com

前号(No.20)の訂正(P6 事務局携帯番号)

誤	正
080-1186-4945	080-1186-8945

平成21年度（第85期）同窓会幹事名簿

平成22年3月卒業のクラス別同窓会幹事です。

■11クラス：22名（◎代表幹事 ○副代表幹事）

クラス	担 任	幹 事
M・A	増田 修一先生	鈴木 健斗 佐々木 湖央
M・B	日比野 重光先生	田村 智治 佐久間 大
M・C	小野 博司先生	石塚 皓章 村上 允三
E・A	須賀 寛光先生	◎新井 高仁 ○村上 想太
O・A	淵田 和良先生	佐藤 琢実 星野 大樹
O・B	田口 結香先生	佐々木 滯 黒川 将俊
O・C	湯尻 英明先生	井上 駿 千谷 健斗
O・D	町田 美香先生	布川 勝陸 酒見 優希
O・E	宮田 宏輔先生	○下村 祥子 ○田村 奈津子
O・F	松田 稔先生	エフカ莉絵美里 鈴木 健太
O・G	小林 正文先生	川名 克美 中野 晃太郎

■学年主任：村上 信人先生

物故者

卒 期	氏 名 (旧姓)	没 年
16期	鈴木 豊	平成11年5月
17期	中山 典生	平成20年9月
17期	吉田 時重	平成21年4月
18期	西村 重雄	平成18年
19期	佐藤 邦明	平成20年6月
19期	小栗 健	平成20年12月
19期	伊藤 廣里	平成21年8月
20期	山本 甚之助	平成19年2月
22期	井上 實	平成21年2月
23期	澤 三男	平成20年6月
23期	富田 寛	平成15年3月
23期	秋松 仁司	平成13年
25期	山崎 圭三郎	平成21年8月
29期	佐々木 信一	平成19年2月
蛭窓33回	長副 光伸	平成20年7月
35期	吉越 輝雄	平成16年3月
36期	三澤 憲夫	平成21年1月
41期	平田 昭一	平成21年1月
48期	岸本 昇	平成22年1月
48期	露木 和代(多田)	平成22年1月
57期	新井 清隆	昭和59年

※卒期の「蛭窓」は、定時制卒期です。

★各メーカー新車・中古車販売／★車検・板金・塗装
★おんぼろ損害保険・生命保険代理店
★自動車・火災・損害・各種保険取扱

有限会社 **モリタ自動車**
民間車検場（東京陸運局長指定第2-637号）
〒230-0023 横浜市鶴見区市場西中町4-17
TEL045-521-4521(代) FAX045-504-5676
E-mail: m-car@vf.netyou.jp

第41期 森田 洋司

事務局だより

事務局・部会からの お知らせとお願い!



■ 「同窓会報」送付のご案内

本会報は、卒業されてから3年迄の会員には送付しておりますが、以降は同窓会役員・同窓会行事出席者・本会報への寄稿者等にしか送付しておりません。

在庫部数に限りがありますが、クラス会・同窓会の開催の際には、事務局にご連絡頂ければ差し上げます。ご遠慮なくお申し込み下さい。(事務局)

■ 「卒業アルバム」貸与のお願い

「卒業アルバムのCD化」をし、一部完成したものを東実祭に画像で公開しています。現在、1963年(昭和38年)から2009年(平成21年)まで作成中ですが、73期(1998年卒)のアルバムが事務局に無くて困っています。この年度のアルバムをお貸し頂ける方が居られましたら、ご連絡いただければ助かります。CD化後は必ずご返却させていただきますので、宜しくお願い致します。(総務部)

■ 「広告」掲載のお願い

本同窓会誌に広告を掲載して頂ける企業・事業主の方を募集しております。本紙の広告料は5,000円(縦5cm×横8cm)、1/2スペース2,500円です。また、同窓会のホームページのトップページのバナー広告も募集しております。詳細はホームページの「広告バナー掲載について」をご覧ください。お申込みは事務局に連絡、又はホームページでお願い致します。(会報部)

■ 「同窓会行事」参加のお願い

6月…定期総会 11月…東実祭
9月…懇親旅行 1月…新年会

同窓会行事は、毎年上記の時期に開催予定となっております。同窓生の方であればどなたでも参加出来ます。

お知り合いの先輩・同期・後輩の方にご連絡頂き、お誘い合わせてご参加下さい。

詳細に付きましては、事務局にお問い合わせ頂ければ、案内状を送付致します。また、同窓会のホームページでもご案内と、お申し込みが出来ます。(事務局)

■ 「寄付の要請」などに注意して下さい

「名簿を作成するため寄付を募っています」などのサザの電話が横行しています。同窓会では寄付の要請は一切行っていません。ご家族の方にも周知されて直ぐに対応しないよう<注意>して下さい。

対処法として、「後日連絡を取る」ことにして、名前、住所、電話番号、卒業年度、担任の先生の名前などを聞いて、事務局にご連絡下さい。(事務局)

■ 「同窓会名簿」について

同窓会ホームページを随時更新し、行事などの最新情報をお知らせしております。閲覧されている同窓生が年々増加し、「お問合せフォーム」からの住所変更のご連絡などの他、「同窓会名簿が欲しい」との問合せが最近多数あります。名簿は個人情報保護法等のコンプライアンスの問題や名簿を悪用されるなどの問題で印刷した名簿は発行せず、住所変更等のご連絡を頂いた場合は随時更新してデータベース管理しております。(企画部)

編集後記

平成21年はメタボの話題が語られ、新型インフルエンザの猛威に充分の注意が求められた波乱に満ちた年でした。また、世界の要であるアメリカ経済の停滞は我が国にも容赦なく押し寄せ、消費の低迷は商業、工業界全体に不況感が拡がりました。

同窓会は老、壮、若の和と協働により、強固な絆と深い友情に支えられて運営され、母校も産業技術、スポーツ等、各方面でより優れた人材の養成で国際交流も活発に行われ、世界に誇れる国際的視野に立った広い人材育成に寄与しています。また、大田区には数多い町工場があり、自動車、半導体関連の先端技術を持った工場も沢山あります。工業高校としては強い味方になります。在校生の今後一層の活躍と成功を祈念致します。

少子化により、母校の生徒が減少しないように全員で発展に協力をお願いして後記と致します。(遠藤孝一)

■ 会報部

責任者 川邊 國造
部員 遠藤 孝一
塩野 理二
佐藤 まり子
佐々木 健
山田 慎

■ 編集協力

臼田 佳彦
滝口 房枝
志賀 由直
米倉 美鈴

東実同窓会報 No.21

発行日 平成22年3月1日
編集 「東実同窓会報」会報部
発刊 東京実業高校同窓会
〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1
TEL:(03) 3732-4481
FAX:(03) 3732-4456
URL: <http://www.tojitsu-dosokai.com>
e-Mail: info@tojitsu-dosokai.com
事務局:080-1186-8945
: tojitsu-dosokai@docomo.ne.jp

発行人 本田 位公子
編集人 川邊 國造
制作 トータルプラン株式会社